



# 「福祉」の看板はずす 「機構改革」に反対

今議会で争点の一つとなったのが、役所の編成や名称を変える「機構改革」です。さすがに反対意見も多く、一部修正された上、日本共産党と市民ネットワーク（1人）をのぞく議員の賛成でまりました。

## 指摘した主な問題点

- ◆市民意見を反映したものでなく、わかりにくくなる
- ◆「福祉」の看板をへらす
  - 「障害福祉課」→「障害者くらし支援室」
  - 「高齢福祉課」→「高齢者くらし支援室」
- ◆「消費生活課」と「市民相談課」→「市民生活相談課」  
統廃合で将来の消費者行政後退につながる恐れあり
- ◆より組織が複雑になる
  - 「企画部」→「政策推進部」（名称変更）  
「政策企画部」（市長直下に新設）
- ◆全体をいじることで費用がかさむ

内容	金額
電算システムの修正	1787万円
間仕切り改修	900万円
電話移設工事	77万円
室内板、点字案内図の改修	92万円
合計	2856万円

※他にゴム印、消耗品代など

岸部中グループホーム・  
デイサービスセンターの指定管理者



## 実態のない住所 使われていない電話

市営住宅にある吹田岸部中デイサービスセンターとグループホームの指定管理をNPO法人「いきいきライフ」に委託するとして議案の問題点が明らかになりました。

調査すると、①その団体は議案にある住所にはなく、②電話も不使用。③赤字経営で、役員も設立当時から全員入れ替わっていることなどが判明しました。

日本共産党は、市当局に抗議し是正を求めました。①現在グループホームを8名の市民の方が利用できなくなることを避け、②協定書を結ぶまでに新たな事務所住所の登記変更を行わせることを約束させ、やむなく議案には賛成しました。

## 3つの国への意見書

日本共産党が発案し全会一致で採択

- 保険でよい歯科医療の実現を求める意見書
- 社会福祉施設の確保（福祉人材確保）対策の具体化と充実に関する意見書
- 被爆者に対する援護の適正な推進を求める意見書



## エキスポ事故で要望

20人の死傷者をだしたエキスポランドの事故の後、日本共産党の、こくた恵二衆院議員、小林みえ子参院議員（当時）、あべ府議、市会議員団は検査先送り常態化問題などを調査。

人命にかかわることなので、あいまいにせずきちんと対応するように求めてきました。

## 平和とくらしを守る議員団の活動

### 戦争美化アニメDVD

「日本は自国を守るために戦争した」などと主張し、侵略戦争を美化するアニメDVDを教材にした日本青年会議所作成の教育事業が、文部科学省の委託研究事業に採択されたのを受けて、6月19日に市教育委員会と教育長に、下記の内容で申し入れました。

- 1、文部科学省に事業認可取り消しを求める
- 2、市内の学校教育に持ち込まない

### 「後期高齢者医療制度」

問題で申し入れ

7月19日、来年4月から75歳以上の人に適用される後期高齢者医療制度を運営する府全体の広域議会に、市議会を代表して議長が出席しています。

議員団はこれに先立ち、議長に、府下全市町村から参加できるように広域議会に意見を述べられるようにと要請しました。



玉井みき子 議員



柿原まき 議員



塩見みゆき 議員



竹村博之 議員



村口はじめ 議員



山根たかし 議員



そろり邦雄 議員



倉沢さとし 議員

● 10月18日  
本会議（討論、採決）

● 10月12、15日  
委員会

● 10月10、11日  
本会議（個人質問）

● 10月5、9日  
本会議（代表質問）

● 9月28日  
本会議（議案提案）

9月議会の予定